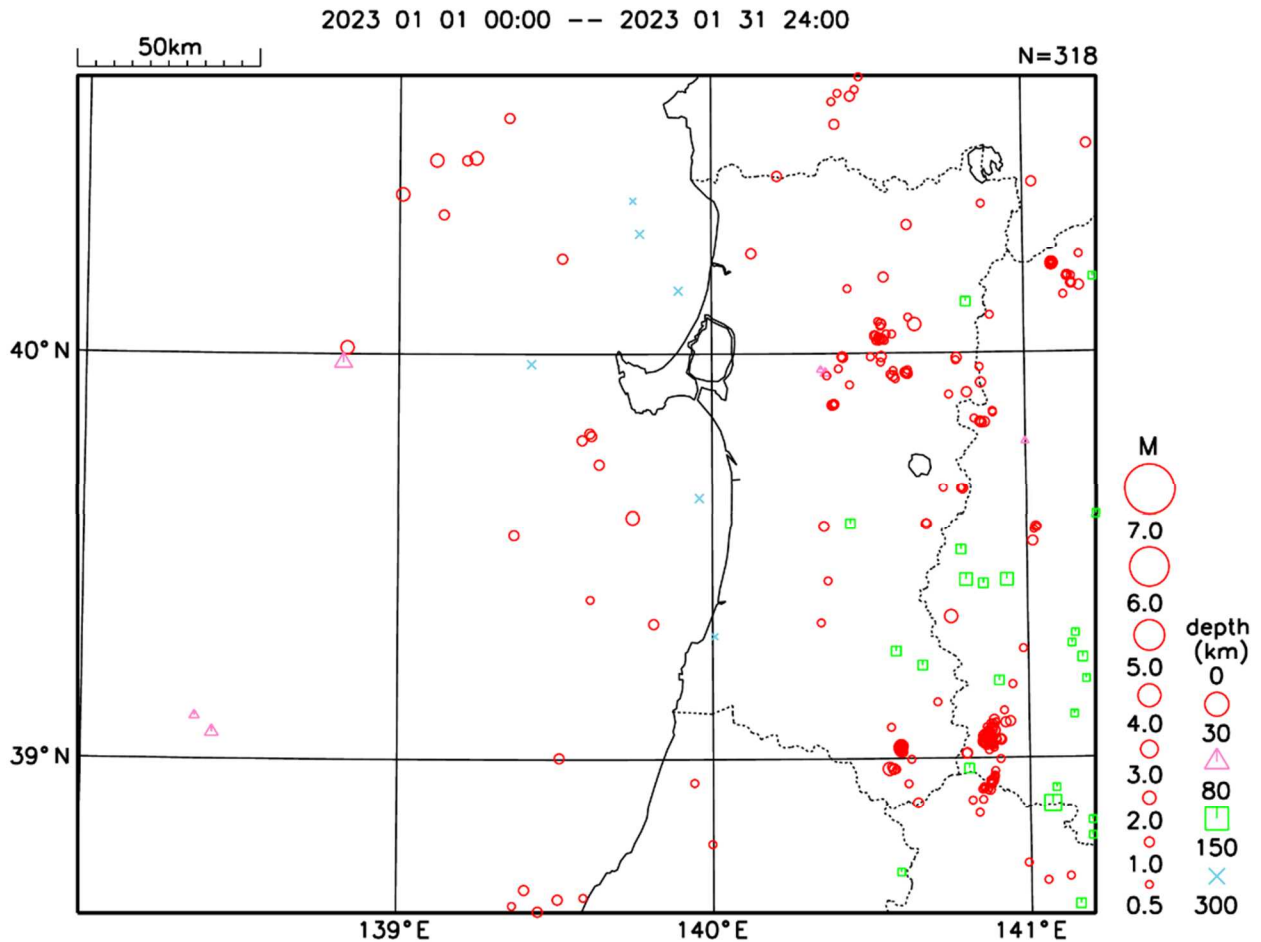


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2023年1月

【震央分布図】



〈1月の地震概況〉

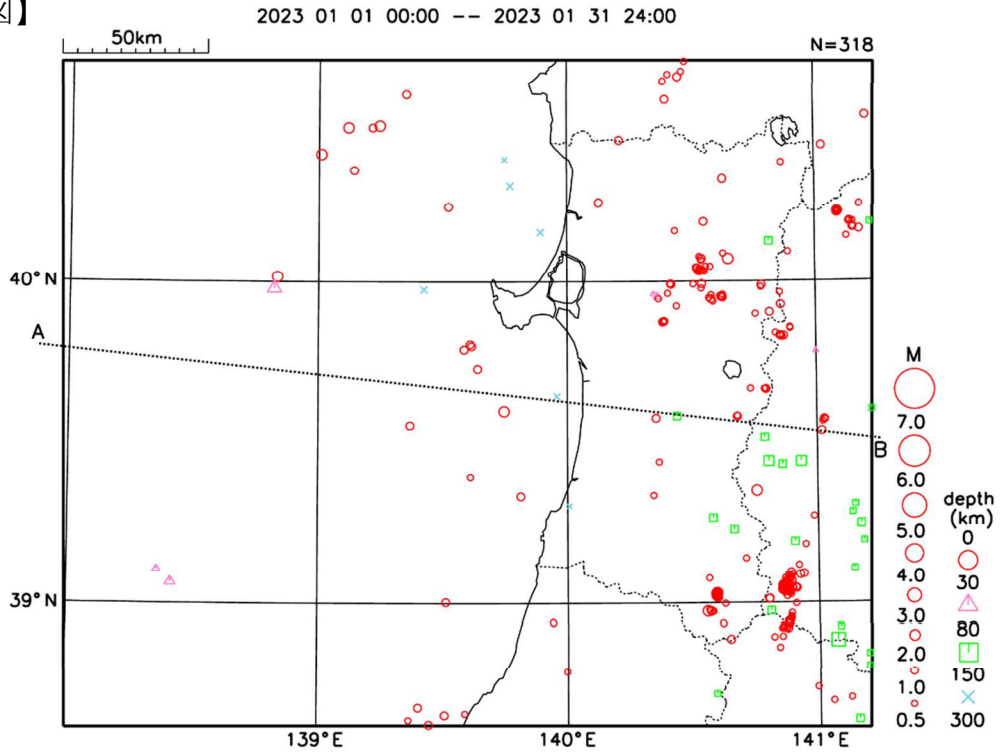
この期間、秋田県とその周辺を震源とする地震は318回発生した。県内で震度1以上を観測した地震は3回（2022年12月：1回）で、全て図の範囲外を震源とする地震であった。

3日16時08分に岩手県沖の深さ37kmでM5.1の地震が発生し、岩手県で震度3を観測したほか、青森県、秋田県、宮城県、北海道で震度2～1を観測した。県内では、北秋田市、大仙市、仙北市などで震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

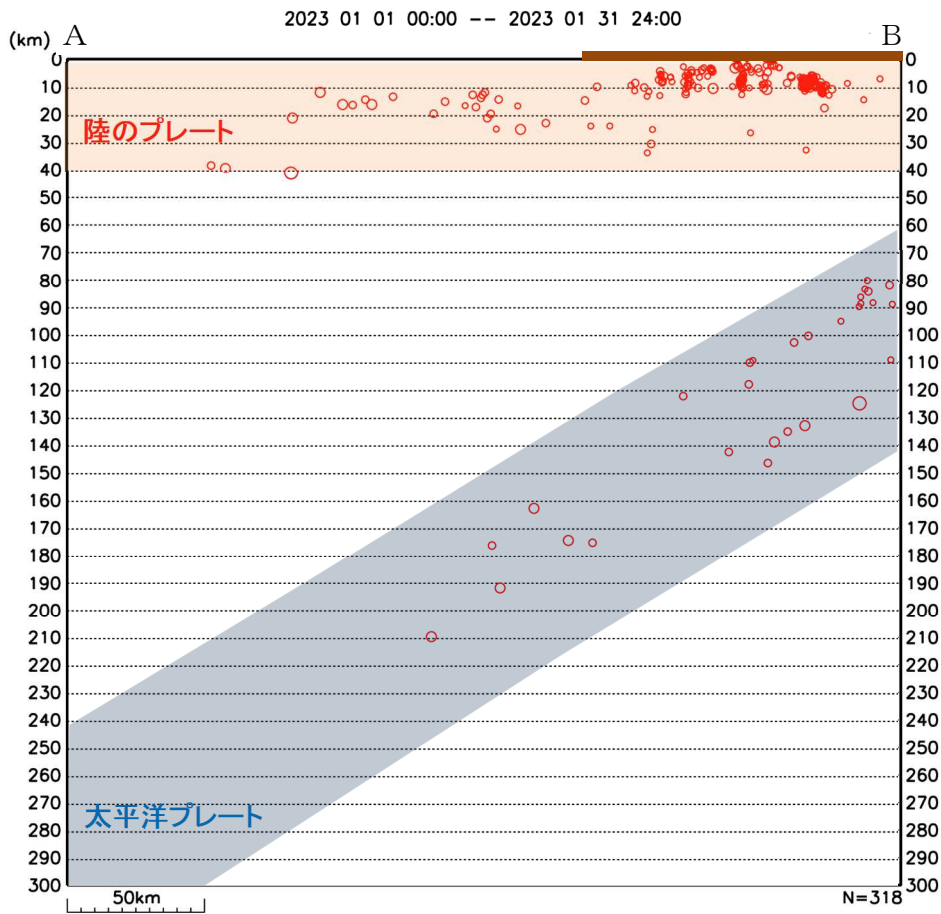
20日14時48分に宮城県沖の深さ46kmでM5.0の地震が発生し、岩手県と宮城県で震度3を観測するなど、東北地方で震度3～1を観測した。県内では、秋田市、横手市、大仙市などで震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

25日10時00分に福島県沖の深さ55kmでM5.1の地震が発生し、宮城県と福島県で震度4を観測するなど、東北地方と関東地方で震度4～1を観測した。県内では、仙北市で震度1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A-Bを断面として投影した震源の深さの分布)



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ は陸地の大まかな位置を示している。
- ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。
 なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年1月1日～2023年1月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年01月03日16時08分	岩手県沖	40° 08.8' N	142° 36.9' E	37km	M5.1
秋田県	震度 1 : 三種町森岳* 大館市比内町扇田* 鹿角市花輪* 北秋田市花園町 横手市大雄* 大仙市刈和野* 大仙市高梨* 仙北市田沢湖生保内上清水*				
2023年01月20日14時48分	宮城県沖	38° 52.9' N	142° 05.6' E	46km	M5.0
秋田県	震度 1 : 五城目町西磯ノ目 井川町北川尻* 三種町森岳* 秋田市河辺和田* 横手市雄物川町今宿 横手市大雄* 湯沢市沖鶴 秋田美郷町六郷東根 大仙市刈和野* 大仙市大曲花園町* 大仙市高梨* 大仙市神宮寺* 仙北市西木町上桧木内* 仙北市角館町小勝田*				
2023年01月25日10時00分	福島県沖	37° 35.4' N	141° 34.8' E	55km	M5.1
秋田県	震度 1 : 仙北市西木町上桧木内*				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。

各地の震度は秋田県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

緊急地震速報の発表基準に 長周期地震動階級の予想を追加

2023年2月1日から、緊急地震速報（警報）の発表基準に長周期地震動階級3以上の予想を追加しました。

ガタガタという強い揺れ（大きな震度）でも、ゆらゆらというゆっくりとした大きな揺れ（長周期地震動）でも、**とるべき行動に違いはありません。**

猶予時間が限られることから、**緊急地震速報を見聞きしたらまずは身を守る行動**をとり、揺れが収まるまで身を守る行動を続けましょう。

緊急地震速報（警報）はこのような時に発表します

発表基準	震度5弱以上を予想した場合 または 長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上を予想した地域 または 長周期地震動階級3以上を予想した地域

長周期地震動階級3以上の揺れで、家具の転倒や移動などで大きな被害が生じるおそれがあります。このため、最大震度5弱以上を予想した場合に加えて、長周期地震動階級3以上を予想した場合にも緊急地震速報（警報）を発表します。

とるべき行動に違いはありません

地震の大きな揺れが、ガタガタという強い揺れ（大きな震度）でも、ゆらゆらというゆっくりとした大きな揺れ（長周期地震動）でも、家具等の転倒や移動、高所にある物の落下、エレベーターの停止など、生じる被害に大きな違いはありません。このため、震度の予想なのか、長周期地震動の予想なのかに関係なく、**緊急地震速報を見聞きしたらまずは身を守る行動**をとり、揺れが収まるまで身を守る行動を続けましょう。

なお、緊急地震速報は、とるべき行動に違いはないことから、震度の基準を満たす地域、長周期地震動階級の基準を満たす地域を区別せずに発表します。



長周期地震動とは？

地震が起きると様々な周期（揺れが1往復かかる時間）を持つ揺れ（地震動）が発生します。規模の大きい地震が発生すると、周期の長いゆっくりとした大きな揺れが生じます。このような地震動のことを長周期地震動といいます。

長周期地震動は、高層ビルなどを長時間にわたって大きく揺らし、室内の家具類が移動したり倒れたりして被害が発生します。また、遠くまで伝わりやすい性質があるため、地震の発生場所から遠く離れた場所で、高層ビルの低層部では揺れが小さいのに上層部では揺れが大きいことなどがあります。

2011年の東北地方太平洋沖地震では、東京などの高層ビルが大きく揺れて被害が発生しました。また、1983年に秋田県沖で発生した日本海中部地震では、石油タンクの被害や震源から遠く離れた場所で高層ビルのエレベーター故障などの被害が発生しています。



長周期地震動階級とは？

震度では表現できない長周期地震動による揺れに対する指標が長周期地震動階級です。

<h3>階級 1</h3> <ul style="list-style-type: none">●室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	<h3>階級 2</h3> <ul style="list-style-type: none">●室内で大きな揺れを感じ、物につかまらなさと感じる。物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。●キャスター付きの家具類等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。
<h3>階級 3</h3> <ul style="list-style-type: none">●立っていることが困難になる。●キャスター付きの家具類等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	<h3>階級 4</h3> <ul style="list-style-type: none">●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。●キャスター付きの家具類等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。

長周期地震動階級関連解説表（高層ビルにおける人の体感・行動、室内の状況等との関連）

長周期地震動についての詳細は気象庁ホームページをご覧ください。

(<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/choshuki/index.html>)